学校番号	1011

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)歴史ゼミナール	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	鑑賞用 DVD 各種						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の授業に関連する内容で、映画鑑賞を通じて興味・関心を深めましょう。
・映画を題材に、歴史内容や人物の学習の理解をより一層深めましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・題材とする映画作品の歴史的背景・当時の人々の価値観・考え方を学び理解している。
・映画を鑑賞するための基礎的な歴史的知識・時代背景を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】
・歴史的事実とその時代背景を理解し、自分の意見を説明することができる。
・学習した授業内容の中で、興味・関心を持った内容を深めている。

【学びに向かう力、人間性等】
・授業に参加し、ワークシートや感想文等で自分の意見・考えを明確に発表し、また他の生徒の意見・考えを理解しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。	・中学校社会科における学習の成果を生かし、映画を通じて歴史を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	戦争と平和(世界)	・インビクタス ・トンマッコルへようこそ	a: 現在の社会問題につながる歴史的背景を理解する。 b:平和への取り組みを過去の戦争や差別と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、過去の反省から現在の社会問題を主体的に解決しようとしている。	考査	感想文	鑑賞する態度
	戦争と平和(日本)	・この世界の片隅に ・火垂るの墓	a: 現在の社会問題につながる歴史的背景を理解する。 b: 平和への取り組みを過去の戦争や差別と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、過去の反省から現在の社会問題を主体的に解決しようとしている。	考査	感想文	鑑賞する態度
2	古代西洋史	・トロイ	a:古代のヨーロッパで起きた出来事を理解する。 b: 古代ヨーロッパの歴史を日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、過去の反省から現在の社会問題を主体的に解決しようとしている。	考査	感想文	鑑賞する態度

	近代西洋史	・タイタニック	a: 近代のヨーロッパで起きた出来事を理解する。 b: 近代ヨーロッパの歴史を日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を 視野に課題を主体的に解決しようとしている。	考査	感想文	鑑賞する態度
3	近世日本史	・超高速参勤交代	a: 近世の日本で起きた出来事を理解する。 b: 近世の歴史を現代の社会や文化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	考査	感想文	鑑賞する態度
	近代日本史	・ラストサムライ	a: 近代の日本で起きた出来事を理解する。 b: 近代の歴史を現代の社会や文化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	考査	感想文	鑑賞する態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度